

| | | | |
|------------------|--|---------|----------|
| 授業コード | JP44250010 | 開講年度・学期 | 2021年度前期 |
| 科目授業名 | 経済法Ⅱ | | |
| 英語科目授業名 | Competition Low2 | | |
| 科目ナンバー | JAAPP9923 | 必修・選択 | 選択必修 |
| 単位数 | 2単位 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員氏名 (代表含む) | 淵川 和彦 | | |
| 科目の主題 | 本講義では、ロースクールにおける経済法の講義あるいはそれと同等の経済法に関する知識を習得していることを前提として、具体的な事例を通じて、独禁法上の諸論点を詳しく検討する。 | | |
| 授業の到達目標 | 経済法の理論を法律実務において用いることができるようになるための基本的知識と技術を習得することが、本講義の到達目標である。 | | |
| 授業内容・授業計画 ① | <p>第1回 経済法の基礎理論 経済法の基本概念、独禁法の三本柱について具体的な事例を挙げながら検討する。</p> <p>第2回・第3回 企業結合規制：基礎 企業結合規制の主要な判例・審決を取り扱い検討する。(例：八幡・富士製鉄合併事件、新日鉄・住金合併事件、JAL・JAS事業統合、ASML・サイマー事業統合事例等)</p> <p>第4回・第5回 企業結合規制：応用 企業結合規制事例の検討(○)</p> <p>第6回・第7回 私的独占：基礎 私的独占の主要な判例・審決を取り扱い検討する。(例：インテル事件、パチンコ機製造特許プール事件、ニプロ事件、日本医療食協会事件、パラマウントベッド事件、福井県連事件等)</p> <p>第8回・第9回 不公正な取引方法：基礎① 不公正な取引方法の主要な判例・審決を取り扱い検討する。(例：ロックマン事件、新潟タクシーチケット事件、東洋リノリウム事件、オートグラス事件、芝浦と畜場事件等)</p> <p>第10回・第11回 私的独占の禁止・不公正な取引方法① 私的独占・不公正な取引方法事例の検討(○)。</p> <p>第12回・第13回 不公正な取引方法の規制：基礎② 不公正な取引方法の主要な判例・審決を取り扱い検討する。(例：マイクロソフト事件、東芝エレベータ事件、ハマナカ毛糸再販事件、大分大山農協事件、SCM事件、ジョンソン・エンド・ジョンソン事件、資生堂花王対面販売義務事件、第一興商事件、ディー・エヌ・エー事件等)</p> <p>第14回 私的独占の禁止・不公正な取引方法の規制② 私的独占・不公正な取引方法事例の検討(○)。</p> <p>第15回 期末試験</p> | | |
| 事前・事後学習 の内容 | 事前に教科書(金井ほか編著『独占禁止法』)の該当箇所ほか使用予定の参考資料を読み、問題の検討が予定されている授業では演習書(川濱ほか編著『論点解析』)の問題を読み構想等をする。事後にはこれらの資料を読み返し、授業時に追加配布された資料を読み復習する。 | | |
| 評価方法 | 絶対評価 レポートを30%(上記「授業内容・授業計画」において「○」が付されている時期に実施する。具体的事例の解析を内容とする。)、期末試験を50%、平常点(講義における報告、質問及び議論への参加状況)を20%として評価する。 | | |
| 受講生へのコメント | 講義の詳細な計画、担当の割当等を講義初回に決定し説明する。 | | |
| 教材 | 金井貴嗣ほか編著『独占禁止法』(弘文堂、第6版2018年)、川濱昇ほか編著『論点解析経済法』(商事法務、第2版、2016年)及び金井貴嗣ほか編著『経済法判例・審決百選』(有斐閣、第2版、2017年)を用いる。 | | |